

家計生産を伴う不完全競争経済における
公共財の最適供給について

野澤 俊一郎

200720772

(経営・政策科学専攻)

指導教員

吉田 雅敏

筑波大学大学院博士課程システム情報工学研究科

修士(公共政策)論文

平成21年3月

概要

本稿では、独占による高い価格設定のために需要不足が起こり、その結果、財が過少生産される不完全競争経済の中で、資源配分上の歪みをもたらす包括的所得税によって資金調達された公共財の最適供給問題を検討する。最終消費財の家計生産における労働と私的財の投入比を一定に維持しながら、これらの節約に貢献する公共財の最適供給水準は、家計の限界支払い意思額と公的資金の社会的限界費用が均等化されるように決定される。次善経済における限界支払い意思額と公的資金の社会的限界費用は、どちらも包括的所得税と不完全競争要因による歪みによって、最善経済の場合よりも過少になる。この結果、次善最適な公共財供給水準は最善最適な水準よりも過小になる。また、限界支払い意思額と公的資金の社会的限界費用は、家計労働を必要とするか否かに依存し、これらはそれを必要とする場合の方が過少になる。このため、家計労働を必要とする場合の公共財の最適供給水準は過大になる。さらに、本稿では、中間財生産における技術ショックの発生など、モデルにおけるパラメータの変化が公共財の最適供給水準に及ぼす影響についての比較静学分析も行った。

目次

1	序文	1
2	モデル	3
2.1	家計部門	3
2.2	政府部門	6
2.3	生産部門	6
2.4	不完全競争均衡	7
3	包括的所得税を用いた場合の公共財供給の乗数効果	8
4	公共財の最適供給条件	10
4.1	最善最適な公共財供給条件	10
4.2	次善最適な公共財供給条件	11
4.3	公共財の最適供給水準の比較	13
4.3.1	次善最適と最善最適の比較	13
4.3.2	完全競争であるか否かでの比較	14
4.3.3	家計生産に時間の投入を必要とするか否かでの比較	15
5	資源配分：次善最適 対 最善最適	17
6	公共財の最適供給水準の比較静学分析	20
6.1	パラメータ変化による均衡国民所得・乗数効果への影響	20
6.2	パラメータ変化による公共財の最適供給水準への影響	22
6.2.1	パラメータ λ の増加	22
6.2.2	パラメータ ϕ の増加	23
6.2.3	パラメータ α の増加	23
6.2.4	パラメータ r の増加	24
6.2.5	パラメータ θ の増加	24
7	結論	26

参考文献	28
数学付録	29
謝辞	42

図目次

4.1 $MWTP$ と $MCPF$	17
5.1 資源配分：次善 対 最善	20

表目次

6.1 公共支出一定下における各パラメータ増加の影響	21
--------------------------------------	----